

4 学校教育計画

項 目		目 標・方 針 及 び 計 画	
(1)	校務運営	目標	・教育目標、教育方針に沿った校務分掌組織を確立し全教職員の共通理解を図りながら機能的・能率的な校務運営を図る。
		計画	①校務運営委員会で、各部・教科学年間の密接な連携による情報の共有化に努める。 ②様々な教育活動において、教育目標と分担業務との関連性の自覚を促し、教職員一人ひとりが意欲的に業務を遂行する意識を高める。
(2)	教育課程	目標	・一人ひとりが基礎学力を身につけ、各分野の学習内容に対応した資格取得や進路を実現する教育課程を編成する。
		計画	①総合選択科目の改善点および、カリキュラムの内容を検討し、教育課程委員会で協議する。 ②生徒の興味関心や進路希望を調査・分析する。 ③シラバスを活用した分野・科目選択のガイダンスを充実する。
(3)	教科指導 重点 1	目標	・基礎学力の定着と調和のとれた人格の形成を図る。 ・一人ひとりが、各教科の目標に到達できるように指導する。
		計画	①授業時間数の確保と指導内容の充実や指導方法の改善に努める。 ②生徒用のシラバスを通して各教科・科目の目標や学習方法などを生徒に理解をさせ、適切な分野・科目選択を図る。
(4)	生徒指導 重点 2	目標	・基本的生活習慣の確立 ・保護者の理解・協力を得て、規範意識、けじめ意識の育成を図りながら、規律と秩序ある校風作りを励ます。 ・生徒自らがマナーや規範意識を高めようとする主体的な活動を支援する。
		計画	①遅刻防止指導 ②問題行動の未然防止、早期対応 ③挨拶、身だしなみ、マナー指導 ④携帯・スマートフォンの使用に関する指導 ⑤講話（交通安全、携帯・スマートフォン、制服着こなし、性、薬害） ⑥玄関前指導、交通安全指導 ⑦校内の巡視 ⑧学習環境整備
(5)	特別活動 重点 4	目標	・行事や部活動の目的を理解させ、各自の役割を遂行する態度の育成と人間関係の健全な育成。 ・放課後活動の充実、および、自己達成感の実感。
		計画	①各行事への主体的な取り組み（体育大会・学園祭等）を促す。 ②部活動やボランティア活動、異年齢交流、地域との連携した活動を通して高校生活の充実をはかる。
(6)	進路指導 重点 3	目標	・3年間を見通した計画的な進路指導を行い、生徒自らが主体的に進路実現に向け努力できるようにする。 ・話す、聴く、読み取る、考える、表現するなどの国語力をつける。 ・生徒個々の進路希望に対応できる進路情報を面談などを通じて効果的に提供するとともに、保護者の協力を促し、目標の実現に向け努力させる。
		計画	①1年次・2年次の進路研修等で職業観や分野別進路内容を理解し、生徒の進路意識を高める。 ②総合的な学習において、小論文・作文力の向上を目指す。 ③各学年、進路選択に応じた面接指導の充実を図り、保護者会などを通じて協力体制を整える。
(7)	保健・美化	目標	・自らの健康を考える知識と意欲の向上を図る。 ・学校環境の整備美化への関心を高め、積極的に実践する態度を育てる。
		計画	①定期健康診断・各種検診の結果をもとに健康について適切に指導する。 ②心身の健康に関する情報を提供し、健康管理の意識を高める。 ③校舎内外の環境美化のため、特別清掃や美化週間を計画する。

(8)	図書指導	目標	・意欲的な読書活動を通して、幅広い知識と教養を身に付けさせ、豊かな情操を培わせる。
		計画	①「朝の読書」に取り組む意識を向上させ、読書活動の定着を図る。 ②図書館の環境を改善し、資料の利用の活発化を図る。 ③さまざまな広報活動や教養講座の運営、校外図書選定など、図書委員の自主的な活動を支援する。
(9)	情報	目標	・情報の管理体制を確立し、情報モラルの育成・高揚を図る。 ・外部への情報発信の充実を目指し、迅速で正確な情報伝達に努める。
		計画	①ネットワーク利用に関するガイドライン及び情報管理運用規定の遵守を徹底するとともにネチケット、マナーの意識の向上を促す。 ②本校のホームページを活用し、効果的な情報発信に努める。
(10)	教育相談	目標	・生徒が心身ともに健康な状態で高校生活を送れるように、悩みを聞き、共に考え、方向性を見いだす。 ・生徒が直面する課題を自らの力で解決できるように導く。
		計画	①不適応等の問題を抱える生徒の早期発見・改善のため、教師間並びに教師と保護者の連絡・調整をし、専門機関との連携を図る。 ②生徒の動向に注意し、援助が必要な場合は、保健厚生部教職員やスクールカウンセラー及び巡回指導員との面談を実施する。 ③相談室だよりの中で、円滑な人間関係の作り方等を紹介する。
(11)	地域との連携	目標	・学校・家庭・地域間の連携・交流をさらに深める。 ・PTA活動の活性化を図る。
		計画	①保護者や地域の方々に学校教育活動や学校行事の参加を促すとともに、地域の行事・ボランティア活動に積極的に参加する。 ②PTA行事や研修内容を充実させるとともに、アンケート実施や連絡・案内等を工夫することにより、会員相互の連携を一層密にする。
(12)	1 学年	目標	・卒業後を見据え、社会性を身につけさせる。 ・卒業後の自分の理想像をイメージさせ、その理想実現のための努力をさせる。
		計画	①「挨拶を交わす、服装を整える、時間を守る」を重点に、学校生活全体を通して細やかな声かけを行う。とくに授業開始時・終了時の挨拶については根気強く指導する。また、保護者との連絡を密にし、家庭と連携して生徒の成長を支援する。 ②生徒一人ひとりとの面談を大切にし、現在の自分と卒業後の自分はつながっているということを強く意識させる。また生徒一人ひとりが興味関心を持って主体的に学習に取り組めるよう、授業内容や課題の提示方法を工夫する。
	2 学年	目標	・将来を見通し、適切な進路選択ができる力を養う。 ・進路実現に向け、自ら課題を見つけ、自主的に行動できるようにする。 ・自己も他者も尊重できる心を養う。
		計画	①県外進路研修、インターンシップ、オープンキャンパスなど、体験を通して進路を考える機会をつくる。また、個人面談を通して進路についての考え方が深まるよう助言する。 ②日頃の学習への取り組み、定期考査、模試・検定の結果などを振り返り、自分自身に必要なことに向き合う時間を設ける。 ③学校行事など、他者と協働して物事を成し遂げる経験ができるよう支援する。
	3 学年	目標	・各自の進路目標を早期に明確化し、その実現に向けた学習活動に真摯に取り組ませる。 ・社会の一員としての常識やマナーを身につける重要性を自覚させる。 ・基本的生活習慣の確立を目指し、規律と自覚ある行動がとれるようにする。
		計画	①個々の能力や適性に応じた進路を決定するためきめ細やかな面接を行う。さらに目標を具体化させ、主体的に取り組む意欲を高める。 ②遅刻・欠席を減らし、挨拶や場に応じたマナーを身につけさせる。 ③学校行事や部活動、ボランティア活動等の経験を通し、リーダーとしての自覚を育て、社会性を高めるように努める。

